

SBI証券主催 新年地銀トップセミナー

群馬銀行の近未来

2025年1月20日 代表取締役頭取 深井 彰彦



群馬銀行

(東証プライム : 8334)

～私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます～

次期中計の計数計画・株主還元

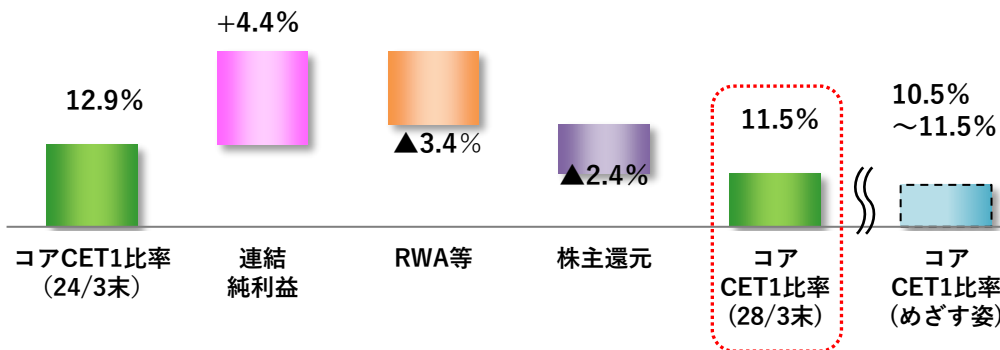
IR説明会で示している計数計画

➡ 足元の状況を踏まえて計画を見直し中（3月3日 新中計IR開催）

(単位：億円)	次期中計		見通し	
	28/3期	25/3期比	25/3期	中計目標比
連結コア業務純益	700	165	535	85
うち資金利益	935	115	820	—
うち非金業務利益	320	50	270	20
当期純利益	500	100	400	100
グループ会社利益	60	20	40	0
自己資本比率	13.4%	0.2%	13.2%	▲0.3%
コアCET1比率	11.5%	▲0.5%	12.0%	—
ROE	8.0%	1.1%	6.9%	1.9%
RORA	1.0%	0.1%	0.9%	0.2%

- ・ RORAを引上げ28/3期に**ROE 8.0%以上**をめざす
- ・ コアCET1比率を**10.5%～11.5%へ**（24/9期 13.01%）
- ・ 劣後債を活用した資本の多層化で最適資本を構築
- ・ 充実した株主還元の実施⇒還元率は**50%超**で推移
- ・ 政策保有株式の対純資産保有割合を**8%～9%へ**（24/9末 15.2%）

キャピタルアロケーション



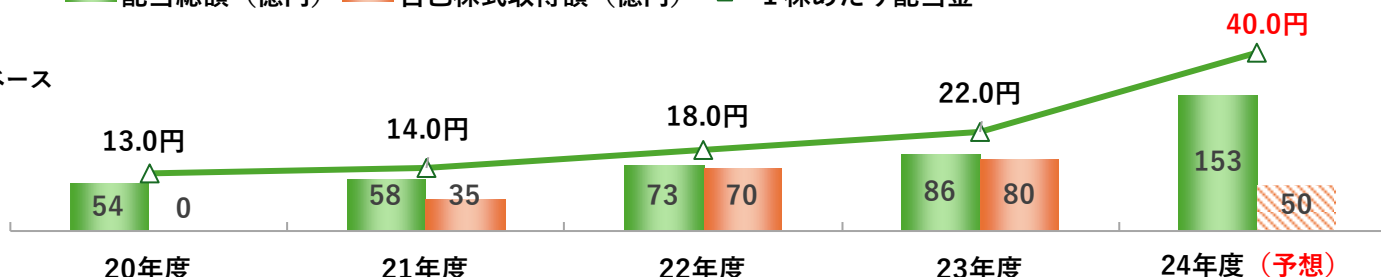
(※) 連結コア業務純益は投信解約損益除き

(※) 次期中計 金利見通し：政策金利0.50%、10年国債1.25%

株主還元

■ 配当総額（億円） ■ 自己株式取得額（億円） ▲ 1株あたり配当金

※22年度から還元率は連結ベース



株主還元率	46.8%	39.9%	51.4%	53.6%	(50.9%)
配当性向	40.4%	22.1%	26.4%	28.1%	(38.6%)

次期中期経営計画（2025年4月～2028年3月）の方向性

位置づけ

Back-casting

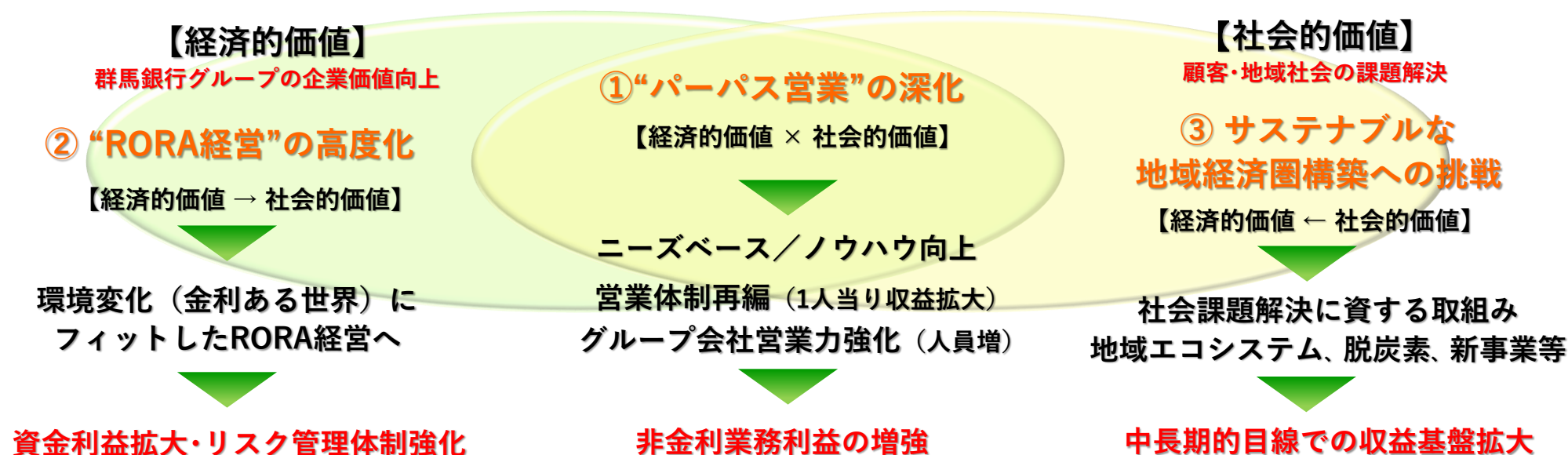
地域と当行の持続的な**成長**に向けチャレンジし続ける3年間

Fore-casting

これまでの6年間の「**Innovation**（改革）」を経て**成長**をつかむ3年間

戦略テーマの方向性

I. 経済的価値・社会的価値の好循環の構築



II. 持続的な成長を支える事業基盤の強化

①DX・業務改革 ②データ利活用 ③人的資本 ④ガバナンス ⑤グループ間連携・外部連携